



ホームページでもご覧いただけます。http://www.osaka-c.ed.jp/nose/index.html

能勢高校ニュースレター

第54号 H.23. 10月発行

秋が深まり、木々の緑にも茶色や黄色、赤色が混じるようになってきました。冬が近くまで来ている気配です。ニュースレター第54号をお届けします。

能勢高校文化祭を開催しました。ご来場ありがとうございました！

10月1日（土）に恒例の能勢高校文化祭をさわやかな秋の晴天のなか開催しました。「能勢高校を応援する会」様のご尽力により事前に新聞チラシで案内をして頂き、昨年より多くの方にご来訪いただきました。文化祭当日、生徒は事前の準備の成果を思い切り発揮して、舞台や展示、模擬店等に大活躍していたと思います。以下に生徒会の役員の子と顧問の感想を掲載します。

会長 岡田尚也（西中出身） 今年のテーマが「絆を築く」ということで、それぞれの企画にこのテーマを思い浮かべさせるようなアイデアなどがあり、とても良い文化祭となりました。高校生活最後の文化祭に生徒会長という大役で携わることができてとても良かったです。ありがとうございました。

副会長 加藤史帆（西中出身） 文化祭、本当にお疲れ様でした。ダンス部に軽音楽部という忙しい人たちが集まった生徒会でしたが、みんなの協力のおかげで無事大成功をかざることができたと嬉しかったです。ありがとうございました。

書記 石田麻莉（東中出身） 生徒会の活動は、文化祭当日よりも準備期間の方が忙しく大変でした。企画を考えたり、それを実行したりすることはもっと大変でした。部活動の企画とクラスの企画、そして全体企画や文化祭全体の運営は、色々な人の協力があったのもでした。楽しい文化祭でした！！ありがとうございました！

書記 堀口滉平（西中出身） 高校生活最後の文化祭はとてもいい思い出になりました。私は体育館ステージの司会を務めました。体育館ステージでは、ダンスや軽音学部それぞれのクラスの劇などがあり、どのクラスも素晴らしい企画を作り上げていました。体育館ステージは忙しかつたけれどやりがいがありました。



銀寄能勢子さん
&きずにゃん
も大活躍でした。

会計 遠山遥（西中出身） 今年の文化祭は「絆」がテーマということもあり、みんなで楽しくまとまりのある文化祭になったと思います。私自身も生徒会や軽音楽部、ダンス部と様々なことで参加できた文化祭でした。高校生最後のビッグイベントに生徒会として関わることができてよかったです。



垂れ幕



垂れ幕



全体企画(写真で描く“絆”



2年生「南中ソーラン！」



ダンス部



赤ずきんと狼の友情物語



軽音・女子



軽音・男子



有志によるダンス



熱気球をあげるぞ



大人気！PTAおでん



能勢高校農場展示

2011年度 能勢高校文化祭を終えて

生徒会顧問 天野 栄一 山川 真砂敦 久保佐代子

6月の体育祭終了後、すぐに文化祭実行委員会を立ち上げ生徒とともに考えた文化祭のテーマが「BUILD OUR “KIZUNA” ～絆を築く～」でした。東日本大震災、紀伊半島での豪雨災害など日本を直撃した天災により多くの方が苦しみ、今なおお休みません。今年のテーマは当然のように生徒たちの中から生まれました。

今年も小中学校の児童会・生徒会との連携企画として「絆を築く」をテーマに「垂れ幕の製作」をお願いしました。手形でいっぱいになったものやみんなのメッセージが書き込まれているものなど表現力豊かで見る者も心を惹かれる垂れ幕を展示することができました。

学校全体の企画についても、文化祭の準備活動を撮影した写真を300枚ほど使い3メートル四方の「絆」の文字を型取り展示しました。笑顔や熱心な表情は、能勢高生の絆を深めてくれました。

当日は、昨年度に続き西中学校吹奏楽部のみなさんにオープニングイベントで演奏していただき、始まりにふさわしい落ち着いた雰囲気を作っていただきました。また、例年同様オイスカに協力を頂き1年生との共同で揚げ芋の販売をしていただきました。PTA、「能勢高校を応援する会」の協力も頂くなど、例年同様盛大に開催することができました。

今年は、例年よりもクラス企画における展示や映像の制作・上映が多く、能勢高校生らしい文化祭となりました。体育館企画についても、例年以上に軽音楽部やダンス部のパフォーマンス力や舞台の企画力が向上し、見るものを魅了するステージとなりました。

文化祭の成功にあたり、協力を頂いた小中学校やPTA、関係の皆さまへ文化祭実行委員の生徒とともに厚くお礼を申し上げます。これからも、ご協力・ご支援のほどよろしく願いいたします。

能勢高校PTA研修会を実施しました！

昨年と同様、能勢高校だけでなく、能勢町内の小中学校のPTAにも参加を呼び掛けた「平成23年度 能勢高校PTA研修会」を10月15日（土）に実施しました。当日は前夜からの雨も止み、農場の緑が鮮やかに映えていました。さて今年の内容は、次のふたつです。

- ① 『福助菊の仕立て方』（講師：真鍋校長） ② 『ブドウジャムづくり』（講師：間教諭）



スライドで菊の魅力や特性、これまで行ってきた作業等を説明しました。

西中、岐尼小、天王小、久佐々小及び本校PTAの皆さん、子どもさん4名を含めて総勢32人をふたつの班に分け、途中入れ替えを行って、①②を両方体験しました。

まず、①『福助菊の仕立て方』についてですが、講師の真鍋校長は農業科の教員でしたので、今回の研修に際しては大いに張り切り、準備も入念に行ってきました。スライドにより菊の魅力や特性などについて基礎的な解説を行い、続けて、この夏以来行ってきた準備について説明をしました。生活厚生委員の方々には、猛暑の中の土作りからお手伝いいただき、ほんとうにありがとうございました。

今回は、公平になるよう、くじ引きにより、1人につき2鉢の菊を決めました。皆さん自分の番号の鉢を温室から運び、作業に取り掛かりました。さすがに皆さん能勢の人々だけあって、手際良く作業をしていました。どんなふうの花が咲くのか、今からとても楽しみです。

次に②『ブドウジャムづくり』ですが、昨年に引き続き本校農業科の間教諭が講師を務めました。ジャム作りで一番難しいのは、砂糖・ペクチン・酸を加え、ゼリー化する際、濃縮の途中で火を止めるタイミングを見極めることです。昨年もそうでしたが、今回も、間教諭は研修実施前に試作を重ねました。



仕立ての核心部分である輪台の取り付けを解説しています。



鍋にブドウジュースを入れ煮沸します。沸騰してきたら砂糖を入れます。



世界で1つだけのマイジャム

今回使ったゼリーポイントの見分け方は、次の二つです。
A シャモジ法（シャモジで搦ってみたときすぐに流れず、ドロっとしている状態にする）
B コップ法（冷水を満たしたコップに1滴ジャムを落とし、拡散しないで、球状のまま沈降する状態にする）
皆さん、間教諭のアドバイスを参考にして、火加減を決めていました。なかには、煮立ってしまう班もありました。最後に、出来上がったジャムを瓶につめ、自分の名前を書いたラベルを貼ったら完成です。できたてのジャムは温かで、

早速パンに付けて試食したら、とてつもなく美味でした。

二つの研修を終えた後は、一同集合し、パンとジュース・お茶でお昼にしました。今回参加したみなさんに、自校のPTA活動についてアピールして頂き、能勢高校PTA役員の皆さんも、能勢高校の魅力について熱く語って下さいました。

また、農場を散策して、ヒツジやキジ、クジャクを見つけ、子どもたちは大喜びでした。今回も本当に楽しく、美味しく、有意義な研修でした。来年のPTA研修の際には、是非多くの皆さまにご参加頂き、能勢高校農場の魅力に触れて頂きたいと思います。



A F Sホストファミリーを募集します！

海外からの留学生を受入れ、日本語を教えるなど、国際交流をしてみませんか？ 来年能勢高校に来る長期留学生（2012年3月末～2013年2月初）のホストファミリーと日本語ボランティアを募集します。少しでも興味・関心がおありでしたら、能勢高校までお問い合わせ願います。 (072-737-0666) 今年は、A F Sプログラムにより、ニュージーランドから長期留学生のダイアナが来ています。ダイアナの挨拶は、次号のニューズレターで掲載します。

速報！ 厳しい雇用情勢の中、就職試験において大善戦しています。

中学生のみなさん、次はあなたが能勢高で、夢を叶えましょう！